



道徳だより



東湊スポーツフェスティバルに向けて

2学期が始まり1か月が過ぎようとしています。夏のような暑さもしだいにおさまり、過ごしやすい気温になったこともあります。子どもたちは夏休み気分を切り替え学校生活を楽しんでいるようです。

さて、10月8日（水）に行われる東湊スポーツフェスティバルに向けて練習も始まりました。今年度は、運動場も整備されたので一昨年までのように徒競走や団対抗リレーも実施します。競争遊戯や応援合戦も継続して行うので、力強さや速さを競うと共に集団活動や忍耐力も身に付ける良い機会になります。ご家庭で、励ましの言葉をお願いします。

運動が得意な人にとっては楽しみな行事ですが、苦手な人にとっては楽しみではない場合が多いです。それでも、努力をすることでたくましく成長できると思います。東湊スポーツフェスティバル後には、「順位のことばかりではなく、「入場の仕方が良かったよ。」や「団対抗の応援合戦でいい声が出ていたね。」など最後まで走り続けることやがんばり続けることについて、話していただけすると達成感がもてると思います。

「びりのきもち」という詩があります。

作者は、阪田寛夫さんです。

この詩は、運動会などで「びり」になった子どもの気持ちに寄り添いやさしく描かれたものです。誰もが、なりたくてびりになるわけではありません。スポーツフェスティバルでは、全力を出して子どもたち同士が互いに相手を讃え合う、思い出深い場を築き上げていきたいと思います。

